

京都大学複合原子力科学研究所  
「福島原発事故で放出された放射性物質の多面的分析」専門研究会  
プログラム

日時:2018年12月21日(金) 9:30 - 17:00

場所:京都大学複合原子力科学研究所 事務棟大会議室

9:30-9:40 開会挨拶 (複合研・大槻勤)

・セッション1 「放出された放射性物質の多面的分析」

- 9:40-10:00 「粒子インベントリー導出のためのIP測定の結果」 張子見 (阪大理)
- 10:00-10:20 「福島第一原子力発電所事故後の動物生息地の土壌中<sup>90</sup>Sr、<sup>137</sup>Csの状態」  
小荒井一真 (東北大院理)
- 10:20-10:40 「粒子中のSr分析の結果」 五十嵐淳哉 (阪大理)
- 10:50-11:10 「事故後5年後のコア試料分析」 二宮和彦 (阪大理)
- 11:10-11:35 「競争吸着理論に基づく土壌混合廃棄物からのCs溶出特性」 米田 稔 (京大工)
- 11:35-11:55 「核分裂生成物を用いたエアロゾル模擬実験」 高宮幸一 (京大複合研)
- 11:55-12:20 「Catchment scale distribution of Air Dose and radiocesium in Ogi Dam area,  
Kawauchi Village, Fukushima」 Triyono Basuki (広大院理)

12:20-13:30 昼休憩

・セッション2 「放射性微粒子研究の動向」

- 13:30-14:00 「CLADS 補助金国際協力型研究(日英)について」 五十嵐康人 (茨城大)
- 14:00-14:20 「2種類のケイ酸化合物からなるTypeB粒子に対する組成分析」  
松尾一樹 (筑波大数理)
- 14:20-14:40 「放射性粒子に対するICP-MS/MSによる定量分析」 長谷川涼 (筑波大数理)
- 14:40-15:00 休憩

・セッション3 「敷地内外の知見の融合」

- 15:00-15:30 招待講演: 溝上伸也 (東京電力HD)  
「不溶性セシウム粒子タイプAの生成メカニズムに関する現象論的考察(仮)」
- 15:30-15:45 「SPring-8 JAEA 専用ビームラインの実燃料デブリ対応化計画」 佐藤志彦 (JAEA)
- 15:45-16:15 「燃料デブリの状態評価と素材プロセッシング」 佐藤修彰 (東北大学)

・総合討論 1

16:15-17:30 「これまでの実績等」

・総合討論 2

18:30- 「国際協力型研究(日英)の計画等」

(-22:00 までには終了)